

セラピーファームめぐたま 支援プログラム

	場面・具体例	ねらい	内容・支援	5領域
喜ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・荷物整理 ・給食 おやつ ・はみがき ・手洗い うがい ・午睡 ・排泄 ・着脱 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の流れを知り、見通しをもって過ごす。 ・生活動作を身に付ける。 ・持ち物意識をつける。 ・自分でできることを少しずつ増やしていく。 ・善悪の判断を身につけていく。(やっつけていいことといけないうちの区別を知る) ・最終的には支援の要らない状態を目指す。 	<p><視覚化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カード/ホワイトボードなどを活用し視覚的に分かり易くする。 ・荷物の場所を視覚的に示す。 ・やり終えた課題など蓄積されていく状態が目を確認できるようにする。 <p><スケジュールリング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画は子どもと一緒に立案する。 ・課題や作業などステップに分け、一つできたら次のステップに進むようにする。 <p><場所、色、合図の統一性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や場所と統一された色カードで視覚情報を整える。 	① ②
遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・一人遊び ・感触遊び (粘土、砂、泥、大豆、米、水遊び) ・運動遊び (外遊び 散歩 水遊び リズム遊び 体操) ・集団遊び (かくれんぼ 鬼ごっこ だるまさんがころんだ ドッチボール サッカーなど) ・ガラクタ工作 (ハサミ、のり、ガムテープ、ノコギリ、トンカチなど) ・お絵描き ・ごっこ遊び ・言葉遊び (絵本 かるた すごろく トランプ 3ヒントゲーム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の遊びに集中没頭する。 ・一人フロー状態を味わう。 ・やった！できた！という達成感や成就感をたくさん味わう。 ・またやりたい！もっとやりたい！うまくなりたいたい！という挑戦意欲を大切にする。 ・自ら課題設定し乗り越えていく体験を積み重ねていく。 ・身体の使い方を知る。 ・可動域を広げる。 ・体力をつける。 ・体幹を鍛える。 ・手先の巧緻性を高める。 ・受け入れられる感覚の幅を拡げる。 ・小さなグループで遊びに集中没入する。 ・仲間と共にフローを体験する。 ・燃える集団を体験し他者との一体感を味わう。 ・また明日もやろうね！という目的意識や継続持続力の芽を育む。 ・絵本やゲームの言葉と生活の言葉をつなげる。 ・数量・大小・重さ・色などの概念を遊びの中でつかんでいく。 	<p><感覚統合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5感（視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚）＋2感（前提覚・固有覚）を刺激し、様々な感覚情報を提供することで脳が様々な感覚を整理したり、まとめたりする機能(感覚統合)を高める。 ・それにより必要な感覚を調整して注意が向けられるようになることで、適切なコミュニケーションが取れるようになり、周りの状況に応じた行動がとれるようになる。 ・なりきって遊ぶことや言葉でのやり取りを行い様々な感覚を刺激していく。 ・自分なりに表現しようとしている事を大いに認め自信につなげていく。 ・実力よりも少し高い課題を設定し、さらなる挑戦意欲を高めていく。 <p><刺激の調整></p> <ul style="list-style-type: none"> ・刺激の少ない閉ざされた空間をクールダウンのために使用していく。 ・必要に応じて少しずつ大きな空間や集団へ移行していく。 	② ③ ④ ⑤

セラピーファームめぐたま 支援プログラム

学 び	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さん ・劇遊び ・山車づくり ・遊具づくり ・絵本読み聞かせ ・東山粘土工作 (家族の顔、器など) ・お話しづくり ・絵本づくり ・お泊り会 (カレーづくり、野菜切り、火 起こし、皿洗いなど) ・お別れ会 ・セカンドステップ ・振り返り ・話し合い ・消防パレード ・山車パレード ・みずぎ荘訪問 ・JA金山餅つき ・お誕生会 ・保護者参観 ・子ども縁日/マルシェ ・ホースセラピー体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識を持つ。 ・見通しを持つ。 ・なりきる事を楽しむ。 ・仲間と共にフローを体験する。 ・仲間と共に同じ目的に向かって いく中で様々な課題を乗り越えて いく。 ・目的をもって作ったり、表現す る満足感や達成感を味わう。 ・空想と現実の世界を行き来す る。 ・自分たちの活動や出来事を思い 出し振り返っていく。 ・自分の思いを言葉にする。 ・仲間の思いを受け止め、共感し たり、反発したりして、自分とは 違う感情を味わう。 ・課題、問題、トラブルを自らの こととして考え、仲間と相談し、 解決し、実践していく。 ・地域行事への積極的な参加によ る交流 ・地域の人や文化を知る 	<p><ソーシャルスキルトレーニング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような場面でつまづきを起こし やすく、どのような配慮や振る舞いが 必要か考え、その上で足りないスキル を身につけていく。 <p><セカンドステップ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表情カードを使い喜怒哀楽の感情を 感じたり表したりする。 ・ロールプレーで自らの感情を表情な どで表出する。 ・絵カードを用いて表情を見分ける。 ・様々なトラブル場面を用いて気持ち を推測させていく。 <p><コーピング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題が起きないように、または起こ りにくくするための対応を考え実践し 改善していく。 ・問題発生後の感情コントロールや やってほしくない対応などを考え実践 し改善していく。 ・問題発生後のクールダウン（刺激の 少ない空間で心を整える） ・ストレス発散（サウンドバックなど を活用してイライラした気持ちを発散 させる） 	③ ④ ⑤
仕 事	<ul style="list-style-type: none"> ・畑たんぼのお仕事 ・動物のお世話 ・ローソク作り ・味噌づくり ・園庭小川掃除 ・毎日の掃除 ・雑巾がけ ・ゴミ出し ・床ワックスがけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・命を育てる喜びと責任を感じる。 ・毎日のルーティンを積み重ね少 ずつ作業が習熟していく。 ・食に興味関心を持つ。 ・誰かの役に立つことの喜びを感 じ、継続する力を育てる。 ・自分の事として物事を捉えられ るようになる。 ・きれいになって気持ちいい感覚 を味わう。 ・仲間と共に働く喜びを知る。 	<p><ワークシステム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備から片付けまで責任を持って取 り組めるように任せていく。 ・役割を意識しながら取り組めるよう に声掛けを工夫していく。 ・あえて期限や数量を限定する。 <p><スケジュールリング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日やその仕事の見通しを立てる。 ・今、全体のどこをやっているのかを 視覚化し分かり易くする。 	① ② ③ ④ ⑤

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性